



## 三方五湖エリア活性化支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 新幹線開業効果を最大化 ]				関連する県の計画等		[ 高速交通開通アクション・プログラム ]					
[解決すべき問題・課題] 平成30年度に三方五湖エリア全体協議会を立ち上げ、本エリアの「目指すべき姿」をステップアッププログラムとともに示した。今後、このプログラムを関係団体や地域住民と協力しながら着実に実行していく必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 令和3年レインボーライン入込数 340千人 令和4年レインボーライン入込数 378千人						
[事業目的] 本県の重要な交流拠点となる三方五湖エリアにおいて、県・町・地元が一体となって観光の目玉づくりを加速させ、誘客促進を図る。												
[事業内容] ・レインボーラインの景観維持												
[受益者] 若狭美浜地域						[想定される受益者数] 378千人 (R4福井県観光客入込数(レインボーライン))						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 三方五湖エリア魅力アップ推進事業 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## 三方五湖エリア活性化支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,000				1,000							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			193,535	19,921	4,875	1,000	レインボーライン景観維持以外の事業は、R5終了のため					
2月現計予算額の推移			193,535	19,682	3,375							
決算額の推移			182,532	19,558								
前年度までの 主な増減理由	R5：レインボーライン景観維持費の一部を、土木部の北陸新幹線開業に向けた環境改善対策枠内で対応するため R4：レインボーライン山頂公園の観光施設改修工事の完了に伴う減											
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	三方五湖の入込数 (千人)	(目標) 実績	(300) 378	(300) 340	(300) 378	(338)	(338)		新型コロナウイルスの影響も踏まえ、当面H28年水準(30万人)を維持 ※レインボーラインの数値を準拠 中間目標は観光ビジョンの目標値(H30年度比20%増)に合わせる			
活動指標	景観維持作業の実施	(目標) 実績			(1) 1	(1)	(1)					年1回実施
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価			実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・舟小屋改修(茅葺屋根の舟小屋を独自の文化を伝える観光スポットとして修繕)</li> <li>・レインボーライン景観維持</li> <li>・三方五湖の多様な自然を楽しむ飲食空間づくり支援</li> </ul>			—				□ 拡充	■ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額		
							□ 継続	□ 休止	□ 完了	3,875		
							□ 整理統合	□ 廃止	□ その他			

## 若狭湾サイクリングルート整備事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	県、市町ほか				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営、補助								事業経過年数	4 年		
補助率	1/2ほか											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	〔 3 楽しみを広げる(創造力) 〕			関連する県の計画等		〔 高速交通開通アクション・プログラム 〕					
	政策	〔 10 新幹線開業効果を最大化 〕										
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
嶺南地域の観光客入込数は県全体の3割程度にとどまっており、嶺南地域の魅力を活かした誘客の目玉をつくる必要がある。						R4年 嶺南地域観光客入込数(延べ人数) 7,732千人 (県全体: 28,339千人)						
[事業目的] 三方五湖周遊ルートを核としたサイクリングルートを整備し、ナショナルサイクリングルートの指定を目指すとともに、北陸新幹線開業に向けて、国内外のサイクリストやファミリー層などの誘客を図る。												
[事業内容] (1) 走行環境整備 路面表示(矢羽根等)・案内看板の整備 自転車道並走区間の整備 (2) 受入環境整備 ゲートウェイ整備 他県連携事業 HP、マップ作成 ワークショップ・ガイド育成講座 多様な宿泊施設整備支援事業 (3) 推進体制 協議会運営 (4) 情報発信 (5) ナショナルサイクリングルート指定促進 自転車利用環境向上会議の開催												
[受益者] 若狭地域						[想定される受益者数] 378千人(R4福井県観光客入込数(レインボーライン))						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 三方五湖エリア活性化支援事業 (役割分担)					
市町との連携状況	嶺南エリアの市町等とともに協議会を設立					他県の状況						

## 若狭湾サイクリングルート整備事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	県、市町ほか				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営、補助			経過年数					4 年			
補助率	1/2ほか											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	18,905	2,095			16,810		観光振興事業費補助金（先進的なサイクリング環境整備事業）					
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			7,814	8,303	30,398	18,905	若狭湾サイクリングルートの整備進捗状況に応じ、事業費を見直し					
2月現計予算額の推移			7,814	19,732	28,769							
決算額の推移			6,145	8,022								
前年度までの 主な増減理由	R5：ゲートウェイ整備、HP・マップ作成、専門家助言の新規実施による増											
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	三方五湖の入込数（千人）	(目標) (300)	(300)	(300)	(300)	(338)	(338)		新型コロナの影響も踏まえ、当面28年水準（30万人）を維持 ※レインボーラインの数値を準拠 中間目標は観光ビジョンの目標値（H30年度比20%増）に合わせる			
		実績 378	340	378								
活動指標	サイクルツーリズムセミナー等の開催	(目標)	(6)	(8)	(8)	(8)	(8)		(事業者向け) 嶺南1市町につき1回 (住民向け) 嶺南西部・東部各1回 (R4~)			
		実績 6	8	8								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
・地域住民、事業者向けワークショップ開催 8回 (住民向け2回、事業者向け6回)				自転車利用環境向上会議の開催を通して、地元地域のより一層の機運醸成を促進				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

## 新たな観光戦略策定事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内、外	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代				
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	-														
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) 政 策 [ 10 新幹線開業効果を最大化					関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン ]							
[解決すべき問題・課題] 令和元年に策定したふくい観光ビジョンをアフターコロナや北陸新幹線福井・敦賀開業後の情勢を反映した新たな観光戦略に策定する必要がある						[問題・課題を表す客観的データ] 令和4年 福井県観光客入込数 1,519万人 観光消費額 1,058億円									
[事業目的] 新たな観光戦略の策定															
[事業内容] ○新たな観光戦略の策定 ○策定委員会開催に伴う諸経費															
[受益者] 県内観光客						[想定される受益者数] 1,519万人 (R4観光客入込数)									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績) 事業名					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担) 事業名								
市町との連携状況						他県の状況									

## 新たな観光戦略策定事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内、外	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R6 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											R6 年度		
補助率	-											経過年数 1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	7,941					7,941								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	令和 6 年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移					7,941									
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移														
決 算 額 の 推 移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	(目標) 実績							事業の性質上、成果指標を設定することが困難						
活動指標	策定委員会開催数	(目標) 実績				(4)	(4)					(4)		
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和 6 年度の変更点				事業評価						
—				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

# インバウンド受入環境整備事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	県、市町、観光協会、民間事業者等				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	10/10、3/4、1/2以内											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 新幹線開業効果を最大化 ]				関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン ]					
[解決すべき問題・課題] 多言語に対応した標識、フリーWi-Fiエリア、キャッシュレス環境等、外国人がストレスフリーに旅行が出来る環境構築が課題。						[問題・課題を表す客観的データ] 観光庁 訪日外国人旅行者の受入環境整備に関するアンケート内 「旅行時に困ったこと」 1位 多言語対応、2位 二次交通、3位 Wi-Fi 観光庁資料 2023年3月時点 消費免税店舗数 福井県 108 (全国45位)						
[事業目的] 北陸新幹線敦賀延伸に向けて、外国人観光客が快適に旅行できる受入環境を整え、消費拡大を促していくため、市町との共同により重点整備エリアを選定し、域内のキャッシュレス決済・免税対応等を面的に整備する。												
[事業内容] (1) 県内観光事業者のインバウンド対応意識醸成、安心して受入が出来る体制づくり ・ 県内観光事業者向けインバウンドビジネスセミナーの開催 ・ インバウンドアドバイザーによる事業者訪問  (2) 重点整備エリア内における外国人観光客の受入環境整備に対する経費支援 ④・免税手続きカウンター設置費用支援 補助上限額300千円(補助率10/10) 補助対象：商店街組合、民間事業者等  ⑤ (3) 免税店登録・導入に対する支援 ・ 県内事業者における新規免税店登録や導入にかかる初期費用を支援 補助上限100千円(補助率10/10) 補助対象：県内小売店												
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 4, 774事業所 (R3年経済センサス)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 商業・サービス業キャッシュレス決済推進事業 (役割分担)  キャッシュレス対応機器導入に対する経費支援				
市町との連携状況						他県の状況						



# インバウンド受入環境整備事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	県、市町、観光協会、民間事業者等				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	10/10、3/4、1/2以内											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	33,312	16,656			16,656	デジタル田園都市国家構想交付金						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		98,432	62,640	37,734	24,537	0	2月補正前倒し					
2月現計予算額の推移		8,880	16,800	37,734	40,443							
決算額の推移		7,249	14,729	16,875								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	消費税免税店数 (目標) 実績		91	108	132	(200)	(200)					
活動指標	セミナー開催数 (目標) 実績	(3) 2	(5) 6	(10) 11	(17) 18	(12)						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
(令和5年度実績) インバウンドアドバイザーによる啓発セミナー 18回 市町の多言語案内標識の補助金の採択件数 1件 一括免税カウンターの補助金の採択件数 1件				新幹線開業に合わせて個別免税店の登録導入を新規に支援 免税カウンターの導入支援を拡充				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

## サービス品質向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村佳代	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営			経過年数					5 年			
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) 政 策 [ 10 新幹線開業効果を最大化 ] ]				関連する県の計画等		[ FIRST291～北陸新幹線開業プラン～ ]					
[解決すべき問題・課題] 新幹線開業後は、県内観光事業者のサービス品質向上させてことにより、観光客の満足度向上、滞在時間の伸長・観光消費額の増加・リピーターの確保に繋げることが必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] 令和4年 福井県観光客入込数 1,519万人 観光消費額 1,058億円						
[事業目的] 全国レベルのサービス品質を確保し、旅行者の満足度向上を図るため、観光事業者向けのセミナーを開催するとともに、おもてなしに関する動画を広く発信することで、県全体のサービス品質向上を図る。												
[事業内容] (1) サービス品質向上セミナーの開催 観光事業者やタクシー会社、個人事業主向けに、おもてなし意識・マネジメントスキル向上のためのセミナーを開催し、会社全体のサービス品質向上につなげる。 (2) お客様満足度に関する調査&フォローアップセミナーの開催 セミナー受講事業者を中心とするお客様満足度調査を実施した後、調査結果に基づき事業者が自社の問題点を把握し、今後の改善につなげられるようフィードバックセミナーを開催し、観光サービス向上活用のための支援を行う。												
[受益者] 県内の観光事業者(飲食・宿泊・交通)						[想定される受益者数] 事業所数: 5,490 (R3経済センサス-活動調査)						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 事業名 ・ サービス品質向上事業 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ・ おもてなしセミナー事業 (実績) サービス品質向上事業・・・セミナー開催2回(同時ライブ配信) フォローアップセミナー・・・セミナー開催1回(同時ライブ配信) お客様満足度調査・・・観光事業者50回、タクシー事業者50回 R5新規動画掲載・・・5本 おもてなしセミナー・・・セミナー開催1回(同時ライブ配信)					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

## サービス品質向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村佳代	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等				
予算額	2,121						2,121					
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		4,518	6,914	5,114	5,071	2,121	おもてなし規格認証取得支援の終了による減					
2月現計予算額の推移		2,262	5,658	5,114	5,071							
決算額の推移		1,870	2,310	5,107								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	来訪者満足度(%) 【福井県観光連盟アン ケート調査】	(目標) (30) 実績 -	(60) 67	(90) 111	52.2	(60.0)		(60.0)	(R2~4まで) 認証取得数 (R5~) 来訪者満足度			
活動指標	動画掲載本数	(目標) (15) 実績 19	(5) 5	(5) 5	(5) 5	(5)	(5)					
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
サービス品質向上事業・・・セミナー開催2回(同時ライブ配信) フォローアップセミナー・・・セミナー開催1回(同時ライブ配信) お客様満足度調査・・・観光事業50回、タクシー事業各50回 R5新規掲載動画数・・・5本 おもてなしセミナー・・・セミナー開催1回(同時ライブ配信)				事業を一部見直し継続				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	2,950	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 観光ガイドコンテンツレベルアップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代			
事業主体		(公社) 福井県観光連盟			事務区分	■ 自治事務	事業区分	□ 実行予算	事業開始年度	H28 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R6 年度		
事業実施方法		補助金		□ 法定受託事務					■ 補助金	□ その他			経過年数	9 年
補助率		定額												
福井県長期ビジョンにおける位置付け		分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 新幹線開業効果を最大化 ]			関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン、FIRST291～北陸新幹線開業プラン ]							
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]								
<p>民間調査によれば、県内への旅行者の内、再訪意欲ありと答えた観光客の数は全国下位である。リピーターの確保には「広域的な観光案内」および「地元民と接する機会」が重要な要素の1つであることから、県内における観光ガイド人材のレベル向上が急務である。</p>						<p>じゃらん宿泊旅行調査結果 宿泊旅行先としての福井県のパワー評価 ・今後の来訪意欲 43位</p>								
[事業目的]														
<p>北陸新幹線福井・敦賀開業を経てより多くの観光客が福井県を訪れることが見込まれる。そこで、ガイド人材の待遇・マナー向上、およびガイドツアープログラムの造成を行うことで、観光客の満足度向上・滞在時間の伸長・リピーターの増加を図る。</p>														
[事業内容]														
<p>(1) 「観光ガイド養成コース」の開講 観光客のニーズに合わせた広域的な観光案内ができる観光ガイドを育成すべく、ウィズ/アフターコロナのガイディングのあるべき姿や基本的なガイディング技術などについて、実践的な演習を通じて学べる講座を実施する。</p> <p>(2) 「ガイドツアー造成コース」の開講 観光事業者を対象に、商品ターゲットの考え方や、ガイドにおけるストーリー設定の方法、ツアー商品販売の方法、ツアーオペレーションのノウハウなどについて、セミナーやワークショップを行う。また、実際に講師や他参加者の前でガイドツアーの実践を行い、フィードバックを受けることで相互にプログラムを磨き上げていく。</p>														
[受益者] 県内観光客						[想定される受益者数] 1,519万人 (R4観光客入込数)								
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (実績)  福井県認定観光ガイド養成講座：R4認定者数 35名					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況						他県の状況		富山県 とやま観光未来創造塾						

## 観光ガイドコンテンツレベルアップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代				
事業主体	(公社) 福井県観光連盟				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	補助金												□ 法定受託事務	■ 補助金	□ その他
補助率	定額														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	6,275				6,275										
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>															
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移		2,343	2,045	6,164	7,307	6,275									
2月現計予算額の推移		2,045	2,045	6,164	7,307										
決算額の推移		1,748	1,722	5,743											
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) 実績	11,706 12,356	15,191		(20,000)		(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2~R6)						
活動指標	ガイド認定数	(目標) 実績	(30) 31	(30) 19	(30) 35	(30) 25		(240)							
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価							
【前年度実績】 福井県認定観光ガイド養成講座：R5認定者数 25名				オンラインによる開催など、当日現地で参加できない場合でも受講できるようなやり方を検討				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
【事業による要因・外的要因】 認定試験のためのセミナーに十分参加できず、試験を辞退する方が多くいたため(参加者の多くは観光業に従事しており、北陸新幹線開業福井・敦賀開業に向けて本業が多忙となっている)								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,032				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

## 「ふくい観光案内所」運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	福井市				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	- 年度
事業実施方法	負担金			経過 年数					2 年			
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) 政 策 [ 10 新幹線開業効果を最大化 ] ]				関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン、FIRST291～北陸新幹線開業プラン～ ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
北陸新幹線福井敦賀開業に伴い増加する観光客に対し、質の高い情報提供ができる体制を構築する必要がある。						令和4年 福井県観光客入込数 1,519万人 観光消費額 1,058億円						
[事業目的] 北陸新幹線福井駅舎に隣接して、現在福井市が整備した「福井市観光交流センター」1階の「ふくい観光案内所」(R6.3開設)について、福井市と県・県観光連盟が連携し、県域全体の観光情オフを総合的に案内する観光案内所として運営する。												
[事業内容] (A) 観光案内 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 運営体制 <ul style="list-style-type: none"> <li>①所長(旅行業務取扱管理者)…直接雇用(1名) <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンシェルジュの労務管理や金銭出納管理を行う所長を連盟嘱託職員として直接雇用(令和6年2月～旅行商品の販売に必要な「旅行業務取扱管理者」有資格者を採用)</li> </ul> </li> <li>②観光案内コンシェルジュ <ul style="list-style-type: none"> <li>・平日3名、土日祝日4名体制でコンシェルジュを配置(常時英語対応)し、案内業務を実施(営業時間は8時30分から19時まで(年中無休))</li> <li>ただし、繁忙期(桜、GW、夏休み、紅葉シーズンを予定)は営業時間を20時まで延長予定)</li> <li>・映像通訳サービスを導入し、多言語(13か国語)と手話での観光案内に対応・研修会や情報交換会を実施し、県内や近隣県の観光案内所のコンシェルジュ間の連携強化</li> <li>・車いす対応カウンター設置や車いすの貸し出し等、福祉面にも配慮した運営を実施</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>(2) 情報収集・発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内全市町や県外(石川、富山、東京アンテナショップ)の観光案内所等で相互に、リアルタイムに情報共有・情報支援ができるチャットシステムを運用</li> <li>・インターネット、新聞、雑誌、テレビ等で随時最新の情報を収集</li> </ul> </li> </ul> <li>(B) 各種チケット、クーポンおよび土産品等の販売 <ul style="list-style-type: none"> <li>・福井県内周遊の促進に資する旅行商品(ツアー291、はぴバス等)や交通切符等の各種チケット、クーポンや土産品(キリトリップ(福井県観光連盟ブランド土産品)、フクシヨ(福井県セルフブランド化商品))等を販売</li> </ul> </li> <li>(C) 観光案内所設備の運用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・福井県の伝統的工芸品等を福井の食とともに展示・紹介・特産品や伝統的工芸品等を使ったワークショップを定期的実施</li> <li>・デジタルサイネージを活用し、旬なイベント情報等を発信</li> </ul> </li>												
[受益者] 県内観光客						[想定される受益者数] 1,519万人(R4観光客入込数)						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「福井駅観光案内所(仮称)」情報提供体制強化検討事業(実績) 観光案内所開設に伴う情報提供体制強化検討を行い、観光案内所開設事業の基礎データとなった。					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	県内各地の観光案内所をチャットシステムで結び、県内の情報を集約、配信する。					他県の状況		石川県、富山県ともに、県庁所在地中心駅において、観光案内所を開設している。				

## 「ふくい観光案内所」運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代					
事業主体	福井市				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	- 年度				
事業実施方法	負担金												□ 法定受託事務	□ 補助金	R5 年度	経過年数
補助率	-															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	17,886				17,886											
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>																
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	令和 6 年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移					17,160	17,886										
2 月現計予算額の推移					17,160											
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	(目標) 実績								事業の性質上、成果指標を設定することが困難							
活動指標	ワークショップ開催回数 (R6~) (目標) 実績					(12)	(12)	(12)				毎月 1 回開催				
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和 6 年度の変更点				事業評価								
・令和 5 年度は、福井市が整備する「ふくい観光案内所」開設を支援 (R6. 3開設)				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

## レンタカー等観光二次交通整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	県内の民間事業者				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助								経過年数	2 年		
補助率	1/3											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	〔 3 楽しみを広げる(創造力) 〕			関連する県の計画等		〔 ふくい観光ビジョン 〕					
[解決すべき問題・課題]					[問題・課題を表す客観的データ]							
北陸新幹線開業に伴い、レンタカー、カーシェアの台数不足が予想される					北陸新幹線乗客数 開業前比295% ※出典：運輸総合研究所資料 (開業前H26.3～H27.3) 直江津～糸魚川間8,300人/日 (開業後H27.3.14～H28.3.13) 上越妙高～糸魚川間25,300人/日							
[事業目的]												
北陸新幹線開業に伴い台数不足が予想されるレンタカー、カーシェアについて、保管場所確保のための駐車料金支援を行い、県内を訪れた方がレンタカー、カーシェアで移動できるよう整備を行う。												
[事業内容]												
○レンタカー、カーシェア保管費用支援 レンタカーやカーシェア事業者がレンタカー、カーシェア用自動車の台数を増やす目的で駐車場を契約している場合、費用を一部補助する。(月極駐車料金の3分の1、上限5,000円) ※レンタカー113台、カーシェア57台の計170台支援する レンタカーとカーシェアの割合は、東京都在住者への旅行手段ネットアンケートの結果(レンタカー：カーシェア＝2：1)を参考に算出												
[受益者] 県内観光客						[想定される受益者数] 1,519万人 (R4観光客入込数)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績) 事業名					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担) 事業名					
市町との連携状況						他県の状況						



# レンタカー等観光二次交通整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	県内の民間事業者				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/3											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	11,220				11,220							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				26,777	11,220	高級なタクシー導入支援事業が終了したことによる減						
2月現計予算額の推移				26,777								
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標)				(20,000)	(20,000)	令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2~R6)				
		実績										
活動指標	レンタカー、カーシェア 増車数(台)	(目標)			(170)	(170)	(170)					
		実績			126							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
【前年度実績】 JALふるさと応援隊同乗タクシープラン造成：4コース造成 レンタカー、カーシェア増車数：126台 【事業による要因】 新幹線開業後のレンタカーやカーシェア不足について、事業者へ丁寧な説明を行ったこと で126台の増車を確保 【外的要因】 レンタカーやカーシェアを置いておく土地がなく、増車をすることができない				引続き市町と情報共有を行い、土地の確保に努めていく				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	15,557	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 海外クルーズ客船おもてなし事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 新幹線開業効果を最大化 ]				関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン ]					
[解決すべき問題・課題] クルーズ船の敦賀寄港時に、敦賀市内および県内観光地へ案内出来る体制および敦賀港内での受入体制の整備。						[問題・課題を表す客観的データ] 敦賀港内の外国人向け観光案内所数 0						
[事業目的] 海外クルーズ客船の敦賀寄港時に、おもてなしイベントの実施や、観光案内所を設営することで、乗船客の満足度を高め、次回の寄港につなげる。												
[事業内容] 乗船客に対するおもてなし ○本県観光地等のPRツール作成 ・福井県外国語観光マップ等 ○乗船客に対するアンケート ○寄港時における岸壁でのイベント対応 ・観光・物販ブースの設営(仮設テント、案内看板等の設置) ・通訳スタッフの配置												
[受益者] 外国人乗船者						[想定される受益者数] 1隻あたり約2,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・敦賀市が関連イベント等を実施。					他県の状況						

## 海外クルーズ客船おもてなし事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	4,666				4,666							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		5,207	0	0	2,316	4,666	来船数の増					
2月現計予算額の推移		0	0	0	2,316							
決算額の推移		0	0	0	0							
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	外国人乗船人数 (目標)	(2,000)	(0)	(0)	(2,000)	(4,000)						
	実績	2,700	0	0	3,800							
活動指標	通訳ボランティア配置人数 (目標)	(15)	(0)	(0)	(15)	(30)						
	実績	17	0	0	18							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
(令和5年度) ・海外クルーズ1社寄港 (乗船人数約3,800人)				来船数に応じた増				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## DMOによる観光地域づくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体		(公社) 福井県観光連盟			事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助			事業経過年数					4 年			
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野	[ 3 楽しみを広げる(創造力) ]		関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン ]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、県外観光客の新幹線駅から県内観光地に向かうための交通手段確保を図る必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 令和3年 福井県観光入込数 12,356千人、観光消費額 849億円 ↓ 令和4年 福井県観光入込数 15,191千人、観光消費額 1,058億円						
[事業目的] 数年後の北陸新幹線の福井敦賀開業や中部縦貫自動車道の全線開業に向け、コロナ禍による観光ニーズの変容を踏まえ、観光誘客・消費額を拡大するため、福井県版DMO((公社)福井県観光連盟)が主体となって、地域の観光を担うプレイヤー支援や、マーケティング調査・分析情報の支援などを行うことにより、地域の稼ぐ力を引き出すとともに、地域一体となって観光に取り組む基盤づくりを推進する。												
[事業内容] (1) 観光地域づくりマネージャーの設置 (2) 観光スーパーバイザーの設置 (3) インバウンドアドバイザーの設置 (4) 地域の観光を担うプレイヤー支援 (5) 外部専門家の派遣 (6) 観光教育推進事業 (7) 他地域のモデルプレイヤーとのネットワーク構築 (8) 観光事業者(シェフ等)誘致のための都市圏PR拠点運営および施設整備支援 (9) 観光デジタルマーケティング(CRM)推進事業												
[受益者] 県内観光客						[想定される受益者数] 1,519万人(R4観光客入込数)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## DMOによる観光地域づくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	(公社) 福井県観光連盟				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度 R3 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度	
事業実施方法	補助											
補助率	10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	132,453	53,744				78,709	デジタル田園都市国家構想交付金					
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			90,975	163,755	170,570	132,453	・プレーヤー支援を減額					
2月現計予算額の推移			101,754	163,755	170,570							
決算額の推移			53,787	145,734								
前年度までの 主な増減理由	R4：デジタルマーケティングの実施に伴う増 R5：デジタルマーケティングのプロモーション経費を増額											
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光消費額（億円）		849	1,058		(1,700)	(1,700)	令和6年目標値 1,700億円（ふくい観光ビジョン）				
活動指標	観光プレーヤー支援数		(10)	(10)	(10)	(10)						
			13	18	20							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
観光地域づくりマネージャー、観光スーパーバイザーによる地域のプレーヤー支援に取り組み、20件のプレーヤー事業を支援				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	38,117	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 着地型観光バスツアー等準備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体		(公社) 福井県観光連盟、県内貸切バス事業者			事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助、委託			経過年数					2 年			
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野	[ 3 楽しみを広げる(創造力) 政策 [ 10 新幹線開業効果を最大化 ] ]		関連する県の計画等	[ ふくい観光ビジョン ]						
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、県外観光客の新幹線駅から県内観光地に向かうための交通手段確保を図る必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 令和3年 福井県観光入込数 12,356千人、観光消費額 849億円 ↓ 令和4年 福井県観光入込数 15,191千人、観光消費額 1,058億円						
[事業目的] 来年度に迫った北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、各新幹線駅からの県内観光地・宿泊施設等への周遊が課題となっていることから、新幹線利用客をターゲットとした駅からの着地型バスツアーの立ち上げ準備や観光地間の直行バス整備により、気軽に利用できる県内周遊のための手段を確保する。												
[事業内容] (1) 着地型観光バスツアー「はぴバス」定着支援事業 ・ 県内の新幹線駅を発着とする、県内貸切バス事業者による着地型バスツアーの情報発信や事業運営に係る各種項目の支援を、令和5年度に引き続き実施 ・ 支援項目：チラシ等の作成・配布、PRツール(ノベルティ)作成、バスラッピング、販売促進費用(プロモーションフィー、バスガイド育成・手配、デスク人件費、システム保守費等)に係る費用  (2) あわら温泉・恐竜博物館直行「あわら恐竜号」の本格運行に係る費用 ・ 令和6年4月5日(金)～3月30日(日)(金土日祝運行(年末年始を除く))、173日間												
[受益者] 県内観光客						[想定される受益者数] 1,519万人 (R4観光客入込数)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## 着地型観光バスツアー等準備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代		
事業主体	(公社) 福井県観光連盟、県内貸切バス事業者				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		R5 年度 事業終了 予定年度 (見直し年 度)		
事業実施方法	補助、委託					□ 法定受託事務			■ 補助金			事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年
補助率	10/10								□ その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	66,879				66,879								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	令和 6 年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移					62,459	66,879	(1) プロモーションフィーの算定月増による増 (R5年度:3月のみ、R6年度:通年) (2) 「あわら恐竜号」の本格運行実施による増						
2 月現計予算額の推移					62,459								
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	ツアー造成数 (目標) 実績				(11) 11	(15)	(15)						
活動指標	コンソーシアム加盟事業者数 (社) (目標) 実績				(6) 6	(7)	(7)						
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和 6 年度の変更点				事業評価					
ツアー造成数：11ツアー あわら恐竜号実証実験実施 (実施期間：10/14～12/17、3/8～3/31)				・はぴバスの更なる認知度向上、ツアー造成増加のため、事業を継続実施 ・あわら恐竜号の実証実験の結果を踏まえ、本格運行に向け、あわら市と支援を実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

## 国際観光推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	県、(公社)福井県観光連盟				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 ■ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H16 年度 経過年数 21 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 新幹線開業効果を最大化 ]				関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン ]					
[解決すべき問題・課題] 訪日外国人は様々な国々から来訪し、旅行形態や目的などが様々なため、適切なプロモーションを実施する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 令和元年 福井県 外国人延べ宿泊者数 97,730人 令和4年 福井県 外国人延べ宿泊者数 12,560人						
[事業目的] 海外旅行会社・メディア等への営業や貸切バスツアーへの助成等を実施し、本県への海外からの誘客拡大を図る。												
[事業内容] (1) 海外旅行会社、教育関係者、メディア等の招へい (2) 海外旅行会社・メディアへの営業、現地プロモーション ④ (3) 本県へのバスツアーに対する助成 補助額 25千円/台泊 対象地域 台湾、中国、韓国、シンガポール、タイ、マレーシア等 補助要件 ア 貸切バス利用 イ 県内宿泊1泊以上 ウ 県内観光地を2か所以上訪問 拡 加算要件：閑散期加算5千円/台泊 浙江省旅行会社加算25千円/台泊												
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 4,774事業所(R3年経済センサス)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						



# 国際観光推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	県、(公社)福井県観光連盟				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H16 年度 経過年数 21 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	25,410	575			24,835	地方創生推進交付金						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		25,283	22,687	19,798	23,563	25,410	・バス助成の加算					
2月現計予算額の推移		12,108	22,687	14,798	23,563							
決算額の推移		8,366	9,179	12,130								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	外国人宿泊者数(人) (※暦年) (目標) 実績	23,080	9,370	12,460	63,830	(400,000)	(400,000)		令和6年 40万人(ふくい観光ビジョン)			
活動指標	パンフレット配布枚数 (枚) (目標) 実績	(13,000) 5,876	(13,000) 5,477	(13,000) 11,680	(13,000) 33,180	(13,000)			旅行博、商談会等における外国語パンフレットの配付枚数			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
・パンフレット配布枚数33,180枚 観光交流の再開に合わせて観光関連施設およびイベントでの配付、PR				バス助成について浙江省からの誘客や県内事業者の安定的な誘客を促進するため、加算要件を追加				<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 関西の観光団体との連携による「大阪・関西万博」外国人観光客誘客事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体		県、(公社)福井県観光連盟 等			事務 区 分	■ 自治事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	負担金、補助 等											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 新幹線開業効果を最大化 ]			関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン ]					
[解決すべき問題・課題] 関西圏の既に多くの外国人観光客が訪れる地域と連携した本県への誘客体制の構築。						[問題・課題を表す客観的データ] 2019年 訪日外国人延べ宿泊数 大阪 17,926,170人、京都 12,025,050人						
[事業目的] 万博来場者をターゲットに、インバウンドに取り組んでいる関西の観光団体や万博協会との連携し、広域旅行商品の造成や情報発信を行い、本県への誘客拡大を図る。												
[事業内容] (1) 関西観光本部と連携した観光エリアの共同PR 関西観光本部および関係府県・企業との連携により、万博に来場する外国人旅行者をターゲットにした誘客を促進 (2) 大阪観光局と連携した広域周遊ルートの共同PR 連携協定に基づく、大阪をスタートとする広域周遊ルートの造成や、大阪観光局のWEBサイトや観光案内所等でのPR (3) 日本みどりのプロジェクト推進協議会負担金 自然を核とした体験コンテンツの研究・造成、協議会会員企業等を通じた観光コンテンツのPR												
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 4,774事業所(R3年経済センサス)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## 関西の観光団体との連携による「大阪・関西万博」外国人観光客誘客事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	県、(公社)福井県観光連盟 等				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	負担金、補助 等											
補助率	10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	6,100	3,050			3,050	デジタル田園都市国家構想交付金						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		10,308	10,210	5,900	6,000	0	2月補正前倒し					
2月現計予算額の推移		3,408	10,210	5,900	12,100							
決算額の推移		3,329	3,961	2,551								
前年度までの 主な増減理由	R4：東京オリンピック・パラリンピックに合わせたPRの終了											
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	外国人宿泊者数(人) (※暦年) (目標) 実績	23,080	9,370	12,460	63,830	(400,000)	(400,000)		令和6年 40万人(ふくい観光ビジョン)			
活動指標	他地域との連携実績 (件) (目標) 実績		(5) 1	(5) 1	(2) 2	(2)			大阪観光局、関西観光本部			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
・事業実績 英語版タリフシートの作成 31件、商談会 4回 海外旅行博への出展(アメリカ) 記事掲載 1件、バスFAM2本 大阪観光局との包括連携協定締結				FAMや商談会実施による実誘客への注力 (本事業は関西観光本部および大阪観光局との連携事業の ため、協議会等において決定予定)				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## JR西日本と連携したインバウンド誘客促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	県、インバウンド推進協議会等				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、負担金											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 新幹線開業効果を最大化 ]				関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン ]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線開業を控えJR西日本との連携や、多数の訪日外国人が利用する東海道新幹線の運行主体であるJR東海などのJR各社との連携強化。						[問題・課題を表す客観的データ] 令和元年 福井県 外国人延べ宿泊者数 97,730人 令和4年 福井県 外国人延べ宿泊者数 12,560人						
[事業目的] 高い送客能力を持つJR西日本と連携し、訪日需要の早期回復が見込まれるアジア圏からの誘客を図る。												
[事業内容] ○福井県インバウンド推進協議会[※事務局JR西日本福井支店]と連携し、アジア圏を中心としたプロモーションを実施。												
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 4,774事業所(R3年経済センサス)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## JR西日本と連携したインバウンド誘客促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	県、インバウンド推進協議会等				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、負担金											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,600				3,600							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		6,100	6,100	6,100	4,600	3,600						
2月現計予算額の推移		6,100	6,100	6,100	4,600							
決算額の推移		4,269	4,598	5,845								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	外国人宿泊者数(人) (※暦年) (目標) 実績	23,080	9,370	12,460	63,830	(400,000)	(400,000)		令和6年 40万人(ふくい観光ビジョン)			
活動指標	JRとの連携実績 (目標) 実績		(3) 3	(1) 1	(1) 2	(1)						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
・事業実績 関西から本県観光地への移動動画作成 1件 海外旅行会社向けプロモーション 1件				JRが作成した県内周遊クーポンの海外販売のPR				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,000	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 東南アジア市場新規開拓事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営			経過年数					5 年			
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) 政策 [ 10 新幹線開業効果を最大化 ] ]				関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン ]					
[解決すべき問題・課題]  東南アジアにおける旅先としての福井県認知度向上						[問題・課題を表す客観的データ]  令和元年 福井県 外国人延べ宿泊者数 97,730人 うち東南アジア 7,920人 (全体の8.1%)						
[事業目的] 将来の訪日ポテンシャルが高く、食文化や宗教上の受入環境整備の障壁が少ない東南アジア市場を多数の自治体が参入する前に新規開拓し、将来の渡航者数を獲得する。												
[事業内容] ベトナム (BtoB中心) 現地旅行社に対する認知度向上のため、展示会では知名度の高いJNTOブースに出展 タイ (BtoC&B) 旅行博で情報を収集する層が多いため、JNTO主催の訪日旅行特化フェア (FIT) に出展 旅行商品造成を促すため、旅行会社を招聘												
[受益者] 観光事業者 (宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 4,774事業所 (R3年経済センサス)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 小松空港国際定期路線推進事業 (役割分担)  タイ現地旅行社の招聘を石川県と共同で実施し、小松空港へタイからのチャーター便および定期便の誘致を目指す。					
市町との連携状況						他県の状況						

## 東南アジア市場新規開拓事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R6 年度	
事業実施方法	直営									R2 年度			経過年数
補助率	-									5 年			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	5,450	2,725			2,725	デジタル田園都市国家構想交付金							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		3,191	0	4,360	7,050	5,450	フィリピンの削除、タイ旅行会社招へいが石川県連携から単独事業となったため						
2月現計予算額の推移		0	0	4,360	7,050								
決算額の推移		0	0	4,352									
前年度までの主な増減理由		令和5年度タイ追加											
[成果指標等の推移]													
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	外国人宿泊者数(人) (※暦年)	(目標) 実績	23,080	9,370	12,460	63,830	(400,000)	(400,000)	令和6年 40万人(ふくい観光ビジョン)				
活動指標	旅行会社招聘数	(目標) 実績			(1) 1	(3) 3	(2)						
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
・事業実績 情報発信 旅行博出展：3回(フィリピン、ベトナム、タイ) 旅行会社招へい3件(フィリピン2社、ベトナム2社、タイ10社)				令和6年度はコロナウイルスによる行動制限がなくなるため、旅行会社招聘目標を2回に変更し、成果目標の達成を目指す。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,600		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

## ZENによる誘客促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 新幹線開業効果を最大化 ]				関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
欧米に対する福井県の認知度向上。 訪日外国人向けの着地型商品が少ない。						令和元年 福井県 外国人延べ宿泊者数 97,730人 令和4年 福井県 外国人延べ宿泊者数 12,560人						
[事業目的]												
本県が世界に誇るコンテンツであるZENをテーマとした旅行商品の磨き上げや現地REPを通じたプロモーションにより、インバウンドの本格獲得に繋げる。												
[事業内容]												
①販路開拓 ・北米レップの設置 現地旅行事業者、メディアへのセールス活動、および情報提供業務などの対応												
②プロモーション ・仏のZENセンター等を活用した現地PRイベント、セールスコールを実施 ・プロモーション動画をオンライン広告として配信												
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 4,774事業所(R3年経済センサス)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						



## ZENによる誘客促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	15,000	7,500			7,500	デジタル田園都市国家構想交付金						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				16,400	16,400	15,000						
2月現計予算額の推移				16,400	16,400							
決算額の推移				16,390								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	外国人宿泊者数(人) (※暦年) (目標) 実績	23,080	9,370	12,460	63,830	(400,000)	(400,000)		令和6年 40万人(ふくい観光ビジョン)			
活動指標	現地旅行会社との商談会 参加社数 (目標) 実績			(10) 24	(10) 10	(10)						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
・事業実績 情報発信 フランスにてZENをテーマにした観光PRイベント開催 モデルプラン作成 3件				・誘客につなげるため、造成した商品の販売促進や福井県のPRなど、プロモーションに比重をおいて事業を実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,400	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 体験・アクティビティをテーマとした東アジアからのインバウンド拡大事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体		(公社) 福井県観光連盟			事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 新幹線開業効果を最大化 ]			関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン ]					
[解決すべき問題・課題]  体験・アクティビティの旅先としての福井県の認知度向上 訪日リピート層が多い台湾からの安定的な送客環境の構築						[問題・課題を表す客観的データ]  令和元年 福井県 外国人延べ宿泊者数 97,730人 令和4年 福井県 外国人延べ宿泊者数 12,560人						
[事業目的] 若狭湾サイクリングルートや伝統工芸体験など県内での「コト」消費となる体験・アクティビティを目的とした外国人旅行者を獲得する。 また、本県最大のインバウンドマーケットである台湾からのさらなる誘客拡大に向けて継続的に売り込む必要があるため、現地営業窓口を置き、本県誘客の営業を強化する。												
[事業内容] (1) 台湾の旅行会社に本県の営業窓口を置き、問合せ対応や現地旅行会社への訪問営業を実施 ○実施方法・・・現地の旅行会社等に委託 ○業務内容・・・①現地旅行会社やメディア等への訪問営業 ②訪日旅行ニーズ等の現地最新情報収集 ③現地発ツアーの商品造成 ④旅行会社からの問い合わせ対応 など (2) 個人旅行者向け活動の強化 台湾と香港におけるスポーツ系インフルエンサーや現地企業等と連携した施策を公募												
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 4,774事業所(R3年経済センサス)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## 体験・アクティビティをテーマとした東アジアからのインバウンド拡大事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代				
事業主体	(公社) 福井県観光連盟				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度			
事業実施方法	補助												□ 法定受託事務	■ 補助金	□ その他
補助率	10/10														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	15,581				15,581										
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>															
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移					16,515	15,581									
2月現計予算額の推移					16,515										
決算額の推移															
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	外国人宿泊者数(人) (※暦年) (目標) 実績	23,080	9,370	12,460	63,830	(400,000)	(400,000)		令和6年 40万人(ふくい観光ビジョン)						
活動指標	現地でのPRイベント開催 (目標) 実績				(1) 2	(1)									
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価							
・事業実績 ・台湾、香港インフルエンサー招へい2名 台湾旅行会社、サイクリング協会等招へい4名 台湾現地イベントの開催、参加 2件				事業経費を見直し継続				□ 拡充	■ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額				
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	934				
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他					

# インバウンド広報キャンペーン事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) 政策 [ 10 新幹線開業効果を最大化 ] ]				関連する県の計画等	[ ふくい観光ビジョン ]						
[解決すべき問題・課題] 友好都市協定を結んでいる都市との交友を活かして、観光誘客につなげていない。 福井県の認知度が低い。						[問題・課題を表す客観的データ] 友好都市 浙江省の人口…6,577万人 訪日客の割合(2019年)：個別手配(FIT)76.6%、パッケージ団体旅行23.4%						
[事業目的] 中国からの団体旅行客が解禁され、友好都市協定を結んでいる浙江省や海外から外国人観光客に本県の魅力を発信し、旅程決定前に福井県を宿泊地として設定してもらえるように、福井県宿泊者へのプレゼントキャンペーンを実施する。												
[事業内容] 【浙江省】 OTAサイトに掲載している県内の宿泊業者から参加者を募集し、HPにOTAサイトリンクとともに一覧を掲載。 県が浙江省でPRを行い、プレゼント引換券を掲載する。一覧掲載宿泊施設で引換券と交換でプレゼント。 (1) キャンペーン掲載料 (2) プレゼント費用 先着順1,000人を対象 【インターネット広告】 上記浙江省と同じスキーム (1) 広告費用 (2) プレゼント費用 先着順4,000人を対象 【SNS投稿キャンペーン】 観光地等においてその観光地と分かる写真の投稿をSNS上に本人が行ったとき、観光地窓口でノベルティと交換するキャンペーンを実施 (1) 広報費用は上記【インターネット広告】と同時に行う (2) ノベルティ費用												
[受益者] 県内宿泊施設、県内観光地						[想定される受益者数] 4,774事業所(R3年経済センサス)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

# インバウンド広報キャンペーン事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	県				事 務 区 分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	37,962	13,731			24,231	デジタル田園都市国家構想交付金						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						37,962						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	キャンペーン期間中の宿泊数(宿泊) (目標) 実績					(5,000)						
活動指標	キャンペーン開催 (目標) 実績					(3)						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
—				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 高山市等との連携によるインバウンド拡大事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体		県、バス事業者			事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 新幹線開業効果を最大化 ]			関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
岐阜県(高山市)に比べ、福井県のインバウンド宿泊者数が少ない。						外国人宿泊者数(R元)岐阜県…1,660,330人泊、福井県…97,730人泊						
[事業目的] 観光についての連携協議を行っている高山市からのインバウンド誘客(主に、欧米)の誘客を図る。 現状、高山市—金沢市、高山市—富山市のバス、列車についてオーバーツーリズム状況になっており、福井県へのルートを新設することで高山市のオーバーツーリズムを解消するとともに、外国人観光客の福井県への誘客を図る。												
[事業内容] ○福井と高山を結ぶ観光地周遊バスルートの設定調査 ・高山発のバス利用者に対する福井県観光地の印象調査 ・観光地を巡った場合の満足度、不足部分を調査												
[受益者] 県内宿泊施設、県内観光地						[想定される受益者数] 4,774事業所(R3年経済センサス)						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## 高山市等との連携によるインバウンド拡大事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代				
事業主体	県、バス事業者				事務 区分	自治事務 ■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分		■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R6 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、補助												R6 年度		
補助率	10/10												経過年数 1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	7,207	3,603			3,604	デジタル田園都市国家構想交付金									
[予算額の推移等]												(単位：千円)			
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移						7,207									
2月現計予算額の推移															
決算額の推移															
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	観光ルートの設定 (目標) 実績							(1)	令和8年度に観光ルートを設定						
活動指標	観光ルートの調査 (目標) 実績					(2)									
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価							
—				—				<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し    見直し額 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他							

## 御食国の食文化・歴史発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	実行委員会				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 新幹線開業効果を最大化 ]				関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン ]					
[解決すべき問題・課題]  「御食国若狭と鯖街道」を拠点とした福井の「鯖」など、地域の食や食文化や嶺南の魅力を一体的に発信する						[問題・課題を表す客観的データ]  地域ブランド調査2023によると、本県の魅力度は全国38位。						
[事業目的]  御食国と呼ばれた三重県、兵庫県および都であった京都府とともに御食国の文化をインバウンド向けに発信する												
[事業内容] (1) インバウンドに向けたOTAでの販売促進 (2) インバウンドに向けたツーリズム商品の情報発信												
[受益者] 県内宿泊施設、県内観光地						[想定される受益者数] 4, 774事業所 (R3年経済センサス)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						



## 御食国の食文化・歴史発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代		
事業主体	実行委員会				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	負担金												
補助率	-												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	3,000				3,000								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移					3,000	3,000							
2月現計予算額の推移					3,000								
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	外国人宿泊者数(人) (※暦年) (目標) 実績	23,080	9,370	12,460	63,830	(400,000)	(400,000)		令和6年 40万人(ふくい観光ビジョン)				
活動指標	御食国ツーリズム商品造 成 (目標) 実績				(1) 1	(1)		本事業は関連4府県で構成する実行委員会による事業のため、実行委員会において毎年度活動指標を決定					
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
御食国ツーリズム商品造成 1件 JAL機内誌での情報発信 国内OTAへの掲載 モニターツアーの実施				FAMや商談会実施による実誘客への注力 (本事業は関連4府県で構成する実行委員会による事業のた め、来年度の実行委員会において決定予定)				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

## JR越美北線魅力発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) 政 策 [ 10 新幹線開業効果を最大化				関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン ]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業を活かした越美北線の観光利用および沿線地域への観光誘客を促進する。						[問題・課題を表す客観的データ] 2022年度平均通過人員 318人/日						
[事業目的] 令和5年度に制作するJR越美北線PR用ロゴマークを活用し、越美北線の魅力発信を図り、誘客促進につなげる。												
[事業内容] (1) 越美北線車両へのPR用ロゴマークの掲出 越美北線車両の側面にロゴマークを掲示し、沿線各地および乗車される方に越美北線をPR (2) PR用ロゴマーク ステッカーの作成・配布 旅行用キャリーケースや自動車に貼れる屋外対応のステッカーを作成・配布し、貼っていただいた方のキャリーケースや自動車を通じて越美北線をPR												
[受益者] 越美北線利用者						[想定される受益者数] 2022年度平均通過人員 318人/日						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## JR越美北線魅力発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R6 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営											経過年数		
補助率	-											1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	1,912				1,912									
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						1,912								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	観光利用による越美北線 利用人数(増加数)					(80)			観光利用による越美北線利用者数を年間80人増を目指す					
活動指標	ステッカー配布数					(2,000)								
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価						
—				—				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> その他	見直し額			

# インバウンド向けデジタルマーケティング推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる (創造力) 政策 [ 10 新幹線開業効果を最大化 ] ]				関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン ]					
[解決すべき問題・課題]  デジタル領域でのプレゼンス向上						[問題・課題を表す客観的データ]  福井県OTA(Booking.com)登録施設数 2023年5月時点 96件 (全国47位)						
[事業目的]  HPを駆使したマーケティング体制の構築、OTA登録促進によるデジタル領域での誘客促進												
○デジタルマーケティング体制整備費 ・インバウンド向けHPのシステム等維持管理費 ・BtoCコンテンツの作成 (各宿のOTAサイトへのリンクまとめ) ・広報キャンペーンランディングページの作成												
[受益者] 観光事業者 (宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 4, 774事業所 (R3年経済センサス)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	石川県 ・SNS運営 FB(英、繁) IG(英) ・ウェブ広告 SNS広告  富山県 ・SNS運営 FB(英、繁、簡、タイ) Weibo, Weixin(簡)					

# インバウンド向けデジタルマーケティング推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	12,720	6,360			6,360	デジタル田園都市国家構想交付金						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			36,315	26,099	34,741	12,720	多言語SNS運営およびウェブプロモーション費用の減					
2月現計予算額の推移			36,315	26,099	34,741							
決算額の推移			35,666	25,228								
前年度までの 主な増減理由	インバウンド向けホームページ改修の完了 (R4)											
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	ウェブサイトPV数 (目標) 実績			(61,235) 22,921	(67,796) 18,768	(74,357)	(74,357)	(87,478)	令和元年度PV数から単年度平均約12%、最終60%増加を目指す。			
活動指標	SNSフォロワー数 (目標) 実績			5,820	(7,000) 10,663	(8,000)	(8,000)	(9,000)	毎年度約12%増加を目指す。			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
・事業実績 ウェブサイトPV数 18,768人 (1月末) SNSフォロワー数 10,663人 (1月末) ・事業による要因 予約サイトへの動線やモデルコースなど観光コンテンツの情報が不足している。				HPIにおける予約サイトへの動線確保、キャンペーンの告知ページを作成するなどの内容を変更。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	22,021	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## イベント開催による賑わいづくり支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	県内の民間事業者				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助								事業経過年数	5 年		
補助率	1/3											
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) 政 策 [ 10 新幹線開業効果を最大化 ] ]	関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン ]								
[解決すべき問題・課題] 近年全国から誘客を図れるイベントとして注目されている大規模音楽フェスや、中部縦貫自動車道県内全線開通によりアクセスが向上する奥越を中心としたエリアで開催されるイベントの開催を支援し、本県の歴史・文化、食、伝統工芸などの魅力を発信するとともに、福井県の賑わいを創出する。						[問題・課題を表す客観的データ] 令和4年 福井県観光入込数 15,191千人						
[事業目的] 歴史・文化、食、伝統工芸などの福井の魅力を全国に発信できるイベント開催を支援し賑わいを創出する。												
[事業内容] ○大規模野外フェスの支援 ・補助対象 県内の民間事業者 ・補助上限額 10,000千円 ・補助率 1/3以内 ・採択件数 3件 ※他県から福井県への誘客につながる野外フェス等を開催し、県内外の音楽ファンを惹きつける観光コンテンツに対し支援を行い、賑わいを創出する。 (支援イベントの採択基準) ・歴史・文化、食、伝統工芸などの唯一無二の福井の魅力を全国に発信 ・県内観光地か県内新幹線駅から徒歩圏内で開催 ・主催者が興行を生業としていない団体 ・5,000人以上集客するイベント												
[受益者] 県内観光客						[想定される受益者数] 1,519万人 (R4観光客入込数)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## イベント開催による賑わいづくり支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	県内の民間事業者				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/3											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	30,000				30,000							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	令和 6 年度 予算額の増減理由						
当初予算額の推移	30,000	30,000	27,000	4,000	30,000	野外音楽フェスへの支援件数を増やしたことによる増						
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移	6,000	4,000	5,000	10,000								
決 算 額 の 推 移	3,000	0	1,000									
前年度までの 主な増減理由	R5：ワンパークフェスの県庁敷地内活用に伴い、支援額を強化											
[成果指標等の推移]												
区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	イベント入込数 (人)	(目標)		(20,000)	(20,000)	(24,000)						
		実績		8,000	20,000							
活動指標	支援件数	(目標)		(1)	(1)	(3)						
		実績		1	1							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和 6 年度の変更点				事業評価				
ワンパークフェス ・開催日 令和 5 年 9 月 3 日、4 日 ・来場者数 20,000 人				野外音楽フェスへの支援件数を1件から3件に増				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 小松空港を活用した誘客プロモーション事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体		県等			事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法		直営、負担金										
補助率		-										
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) 政策 [ 10 新幹線開業効果を最大化 ] ]			関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン ]					
[解決すべき問題・課題]  小松空港を活用した本県への送客体制の構築。						[問題・課題を表す客観的データ] 小松空港利用者数推移 (国内線+国際線) 2019年度1,770,007人 2020年度379,907人 2021年度534,058人 2022年度 1,121,740人						
[事業目的]  本県の魅力を航空会社等とタイアップして国内外に発信し、「本県の空の玄関口」である小松空港を活用した誘客拡大を図る。												
[事業内容] (1) 航空会社 (JAL、ANA等) とタイアップした誘客プロモーション JAL・・・機内誌での特集記事掲載、CA等によるおもてなし講座 ほか ANA・・・機内誌での特集記事掲載 ほか (2) 石川県と連携したプロモーション活動 小松空港協議会負担金												
[受益者] 県民、県内観光事業者等						[想定される受益者数] 75万人						
前事業の有無・実績		■ 無 □ 有 (実績)	事業名			関連事業の有無・ 役割分担		□ 無 ■ 有 (役割分担)	事業名	小松空港における恐竜王国福井発信事業		
										恐竜ロボット等の維持費等		
市町との連携状況						他県の状況			石川県	・新幹線やのと里山空港と組み合わせた旅行商品の造成支援 ・航空会社と連携した羽田乗り継ぎ便の需要喚起		



## 小松空港を活用した誘客プロモーション事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	県 等				事 務 区 分	■ 自 治 事 務  □ 法 定 受 託 事 務	事 業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、負担金											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	6,785	3,392			3,393	デジタル田園都市国家構想交付金						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		12,464	12,464	12,464	6,785	6,785						
2月現計予算額の推移		5,707	12,464	12,464	6,785							
決算額の推移		1,615	7,623	1,894								
前年度までの 主な増減理由	R4：アンテナショップ運営経費の削減											
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数（千人） （※暦年） （目標） 実績	23,080	9,370	12,460	63,830	(400,000)	(400,000)		令和6年 40万人（ふくい観光ビジョン）			
活動指標	機内誌等での特集記事の 掲載 （目標） 実績	(2) 2	(2) 2	(2) 1	(2) 2	(2)						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
・事業実績 ・ANAの直行便がある浙江省杭州蕭山空港におけるデジタルサイ ネージ ・JALのHPにおけるモデルコース、宿予約、オプションツアーの 掲載				JALのHPに掲載したモデルコースを情報発信し、県宿泊者 数の増を図る				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 小松空港における恐竜王国発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) 政策 [ 10 新幹線開業効果を最大化 ] ]				関連する県の計画等							[ ふくい観光ビジョン ]
[解決すべき問題・課題]  小松空港を活用した本県への送客体制の構築。						[問題・課題を表す客観的データ] 小松空港利用者数推移 (国内線+国際線) 2019年度1,770,007人 2020年度379,907人 2021年度534,058人 2022年度 1,121,740人						
[事業目的]  「本県の空の玄関口」と位置付ける小松空港において、動く恐竜ロボット等を設置するなど本県の恐竜ブランド発信を強化し、本県への誘客拡大を図る。												
[事業内容] ○小松空港内に恐竜ロボット等を設置 設置場所 小松空港1階到着ロビー出入口横(8.96㎡) 主要内容 恐竜ロボットの展示、恐竜博物館等の映像放映等												
[受益者] 県民、県内観光事業者等						[想定される受益者数] 75万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 小松空港を活用した誘客プロモーション事業 (役割分担)  航空会社等とのタイアップによるプロモーションを実施				
市町との連携状況						他県の状況		石川県 ・新幹線やのと里山空港と組み合わせた旅行商品の造成支援 ・航空会社と連携した羽田乗り継ぎ便の需要喚起				

## 小松空港における恐竜王国発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	県				事 務 区 分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	4,010				4,010							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		2,038	2,038	2,038	2,183	4,010	恐竜ロボットのオーバーホールのための増					
2月現計予算額の推移		2,038	2,038	2,172	2,183							
決算額の推移		2,037	2,037	2,172								
前年度までの 主な増減理由	令和4年度故障による修繕費用											
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標)				(20,000)	(20,000)		令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略 H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョン R2~R6)			
		実績	11,706	12,356	15,191							
活動指標	恐竜ロボットの設置 (基)	(目標)	(1)	(1)	(1)	(1)			小松空港での設置数			
		実績	1	1	1	1						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
恐竜ロボットの定期点検等を実施				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 小松空港国際定期路線推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) 政策 [ 10 新幹線開業効果を最大化 ] ]				関連する県の計画等	[ ふくい観光ビジョン ]						
[解決すべき問題・課題]  小松空港を活用した本県への送客体制の構築。						[問題・課題を表す客観的データ] 小松空港利用者数推移(国内線+国際線) 2019年度1,770,007人 2020年度379,907人 2021年度534,058人 2022年度 1,121,740人						
[事業目的]  石川県と連携し、小松空港とアジア各国を結ぶ国際線の新規路線開設や増便を後押しすることにより、ビジネス・観光両面での交流人口拡大を図る。												
[事業内容] (1) 香港におけるプロモーション(石川県との連携) 現地旅行会社等との商談会 (2) タイからのメディア招へい 個人旅行者誘客に向けてメディアによる県内視察 (3) 台湾からのインセンティブツアー誘致 現地企業の報奨旅行誘致に向けた県内視察やメディアによる県内視察の実施 (4) 中国からのインフルエンサー招へい 個人誘客のためのプロモーション												
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 4,774事業所(R3年経済センサス)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 東南アジア市場新規開拓事業 (役割分担)  タイ現地旅行社の招聘を石川県と共同で実施し、小松空港へタイからのチャーター便および定期便の誘致を目指す。					
市町との連携状況						他県の状況	石川県 ・新幹線やのと里山空港と組み合わせた旅行商品の造成支援 ・航空会社と連携した羽田乗り継ぎ便の需要喚起					

## 小松空港国際定期路線推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	7,498				7,498							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		11,200	7,995	8,995	8,995	7,498	石川県との連携事業の減					
2月現計予算額の推移		0	0	2,995	8,251							
決算額の推移		0	0	2,989								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	国際定期路線の開拓 (目標) 実績								国際定期路線の開拓を後押しするものであり、成果指標の設定になじまない。			
活動指標	メディア等による県内視 察 (目標) 実績	(3) 0	(3) 0	(6) 3	(7) 7	(3)						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
【令和5年度】 ・旅行博出展2件 ・インフルエンサー招へい3件 ・旅行関係会社招へい3件 ・メディア掲載1件 ・円安と海外旅行の本格再開に伴い、インフルエンサー費用が上昇。				石川県との連携の中で、費用規模に応じた事業を実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,497	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 稼ぐ観光地づくり応援プロジェクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	県、市町等、（公社）福井県観光連盟				事務区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R4 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営、補助								経過年数	3 年		
補助率	1/2、10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	〔 3 楽しみを広げる（創造力） 〕			関連する県の計画等		〔 ふくい観光ビジョン 〕					
[解決すべき問題・課題]					[問題・課題を表す客観的データ]							
JR西日本・福井県・旅行会社が連携した観光開発プロジェクトの実施に当たり、旅行商品のさらなる造成を進める必要がある					令和4年 福井県観光客入込数 1,519万人 観光消費額 1,058億円							
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、JR西日本・福井県・旅行会社の連携による観光開発プロジェクトを実施することが決定した（令和3年）。本プロジェクトにより、本県を周遊する旅行商品造成を進め、観光消費額の増加、県内周遊観光促進を図る。												
[事業内容] (1) 旅行商品造成にかかる支援 補助対象 ①体験メニュー、アクティビティ等の開発および観光素材の磨き上げ ②観光施設等の改修や備品の追加・更新（新規整備は対象外） (2) 旅行会社仕入れ担当職員による現地視察												
[受益者] 福井県の観光関係事業者（宿泊業、飲食サービス業等）						[想定される受益者数] 事業所数：4,657（R3経済センサス-活動調査）						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## 稼ぐ観光地づくり応援プロジェクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	県、市町等、(公社)福井県観光連盟				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R4 年度	事業終了予定年度(見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	直営、補助								経過年数	3 年		
補助率	1/2、10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	61,431	30,715			30,716	デジタル田園都市国家構想交付金						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			102,502	78,931	61,431	旅行会社への県内視察助成について、国内旅行会社に加え海外旅行会社も助成対象とした						
2月現計予算額の推移			13,985	71,771								
決算額の推移			12,933									
前年度までの主な増減理由	令和5年度は、市町からの補助金活用希望の意見集約を行い、予算額の積み上げを行った(令和4年度は事業開始年度ということもあり、見込みで予算積算を行った)											
[成果指標等の推移]												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	観光素材造成数	(目標)	(24)	(30)	(25)							
		実績	6	24								
活動指標	旅行会社による視察件数	(目標)	(6)	(12)	(18)							
		実績	12	12								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
<b>【前年度実績】</b> ・観光素材造成や既存施設の改修等24件の市町事業を支援 ・国内旅行会社向けに県内視察助成を開始(旅行会社社員20人に対し助成(見込)) <b>【事業による要因】</b> 造成する観光素材の内容や時期の見直しにより、目標30件までは届かなかった				・事業費を見直し継続(縮減) ・観光素材造成数増加に向け、国内に加え、海外旅行会社向けに県内視察助成を行う				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	17,500	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 東尋坊活性化支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	坂井市				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	補助								事業経過年数	5 年		
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 新幹線開業効果を最大化 ]				関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン ]					
[解決すべき問題・課題]  本県を代表とする観光地としてスケールアップを図る必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ]  令和3年 東尋坊観光客入込数 451千人 令和4年 東尋坊観光客入込数 620千人						
[事業目的] 県外での認知度も高く、本県で最も観光客が訪れる東尋坊において、新しい魅力づくりや東尋坊全体の活性化を支援し、本県を代表する観光地としてスケールアップを図る。												
[事業内容] 東尋坊再整備基本計画に基づく活性化事業への支援 (1) ハード整備への支援 駐車場の集約・一元化、県道・市道改修、ビジターセンターの整備 等 (2) ソフト事業への支援 商店街の活性化・新規商品の開発 等												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 事業所数: 4,657 (R3経済センサス-活動調査)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	東尋坊全体の活性化策について、坂井市・地元関係者等と検討					他県の状況						



## 東尋坊活性化支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代			
事業主体	坂井市				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	補助											経過年数		
補助率	1/2											5 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	394,499					394,499								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	令和 6 年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		0	105,504	365,817	222,572	394,499	坂井市の再整備事業の事業規模により各年度の増減あり							
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移		21,900	101,814	97,450	221,980									
決 算 額 の 推 移		20,795	92,096	88,745										
前年度までの 主な増減理由	令和 4 年度は、駐車場一元化や県道拡幅といった工事に着手することとしていたため、当初予算費が増加した (国との協議等により、最終的に工事は令和 5 年度から着手することとなった) 令和 5 年度は、駐車場一元化や県道拡幅といった工事に着手するため、当初予算費が増加した													
[成果指標等の推移]														
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	東尋坊観光客入込数 (千人) (※暦年)	(目標) 実績 676	(目標) 実績 451	(目標) 実績 620			(2,000)	(3,000)	中間(R6)/最終目標(R10) (三国グランドビジョン) より					
活動指標														
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和 6 年度の変更点				事業評価						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐車場の集約・一元化 (工事)</li> <li>・ 県道拡幅・市道付替え (工事)</li> <li>・ ビジターセンター・交通広場 (設計)</li> <li>・ 商店街リニューアル (工事)</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐車場の集約・一元化 (工事)</li> <li>・ 県道拡幅・市道付替え (工事)</li> <li>・ 交通広場 (工事)</li> <li>・ 商店街リニューアル (工事)</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

## 多様な宿泊施設整備支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	市町、民間事業者				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/3、1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	〔 3 楽しみを広げる(創造力) 〕			関連する県の計画等		〔 ふくい観光ビジョン 〕					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線の利用者や今後増加が見込まれる外国人観光客等の新たな宿泊需要に対応する必要がある。					[問題・課題を表す客観的データ] 令和4年県内観光客入込数 15,191千人 うち、日帰り客 12,790千人 宿泊客 2,401千人							
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道の全線開通に備え、観光客の宿泊需要に対応するため、宿泊施設の魅力向上や受入環境の整備を支援する。												
[事業内容] (1) 多様な宿泊施設整備支援事業 ①一般枠 サイクリストに優しい宿、ペットと泊まれる宿、本県の観光資源を活用した伝統工芸ルーム、水族館ルーム等、来県の目的となるような魅力的な宿泊施設の整備にかかる経費を補助 ②新規開業枠 新たに旅館業法第3条第1項の許可を得て、旅館や簡易宿所、ホテルを運営予定の事業者が行う、サイクリストに優しい宿、ペットと泊まれる宿、本県の観光資源を活用した伝統工芸ルーム等、来県の目的となる魅力的な宿泊施設の整備にかかる経費を補助 (2) 地域再生の核となる民宿への改修支援事業 ①地域型経営 1地域に10以上の民宿が集積する地域における地域経営を行うための民宿への改修、共通利用可能な浴場等の整備費を補助 ②旅の目的となる民宿型 専門家チームにより計画された民宿への改修費を補助												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 事業所数: 4,657 (R3経済センサス-活動調査)						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 民宿リニューアル支援事業 (実績) 客室や浴室改修等、62件の民宿等のリニューアルを支援					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	事業者に対し、宿泊施設改修にかかる費用を補助					他県の状況						

## 多様な宿泊施設整備支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代			
事業主体	市町、民間事業者				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助													
補助率	1/3、1/2													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	280,000					280,000								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	令和 6 年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					150,000	280,000	債務負担行為に伴う増 新規開業枠の新設に伴う増							
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移					121,355									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	県内延べ宿泊者数(万人) ※宿泊旅行統計調査(観光 庁) (目標) 実績	256	233	271			(510)	(510)	令和 6 年目標値 510 万人(ふくい観光ビジョン)					
活動指標	支援件数(多様な宿泊施 設整備支援事業) (目標) 実績				(30) 29	(50)	(60)	(60)				R5~R7の3年間で60件		
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和 6 年度の変更点				事業評価						
【前年度実績】 多様な宿泊施設整備支援事業支援件数：29件  【外的要因】 改修内容や資金調達等の理由により、改修時期を見送った案件があるため				多様な宿泊施設整備支援事業に新規開業枠を新設				<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

## 新幹線時代の観光地域スケールアップ支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	市町				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	補助			経過年数					2 年			
補助率	1/2ほか											
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) 政 策 [ 10 新幹線開業効果を最大化				関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
北陸新幹線県内開業に向け、宿泊機能強化が喫緊の課題であり、景観整備などによりスケールアップを図ることにより、稼ぐ観光地域づくりを促進する。						令和4年県内観光客入込数 15,191千人 うち、日帰り客 12,790千人 宿泊客 2,401千人						
[事業目的]												
北陸新幹線や中部縦貫自動車道全線開通による効果を最大化するため、伝統工芸や禅など、多くの人を惹きつける本物の価値をもつ観光素材を活かして観光地域を高付加価値化し、さらなるスケールアップを図ることにより、観光客の滞在時間の伸長、観光消費額の増加につなげ、より稼げる観光地づくりを進める。												
[事業内容]												
<p>補助要件 以下のすべてを満たすこととする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本県の「本物」の価値を持つ観光素材を活かし、観光地の高付加価値化、観光消費額増加を図る取組みであること (観光素材例：温泉、伝統工芸、地質(恐竜)、禅、歴史、文化財 など)</li> <li>・ 観光地域内のまち歩きを推進する取組みであること</li> <li>・ 市町が地域DMO、観光協会、地域の民間事業者等と連携し整備事業計画を策定すること</li> <li>・ 計画の下で、宿泊事業者を含む複数の事業者・団体が事業を進め、観光地域づくりを行うこと</li> <li>・ 観光地域内の滞在時間伸長、観光消費額増加に資するソフト事業を展開すること</li> </ul> <p>補助対象者 (計画策定)市町(市町間連携を含む) (ハード・ソフト)市町(市町間連携を含む) ※民間事業者への間接補助を含む</p> <p>補助上限額 (計画策定)2,500千円/事業 (ハード)100,000千円/事業 (ソフト)15,000千円/事業</p> <p>補助率 (計画策定)1/2以内 (ハード・ソフト)補助対象経費の1/3以内 (国庫活用の場合は、市町負担の経費の1/2以内)</p>												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 5,490事業所(R3経済センサス-活動調査)						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 周遊・滞在型観光推進事業 (実績) H28 計画策定 H29~R4 ハード、ソフト事業に対して支援					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	市町が地域の観光関係事業者と連携し整備計画を策定し、計画を基にしたハード整備・ソフト事業に県が補助金を充当していく形での連携を図っている(補助対象者は市町)					他県の状況						

## 新幹線時代の観光地域スケールアップ支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代			
事業主体	市町				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	補助											経過年数		
補助率	1/2ほか											2 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	102,684					102,684								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					10,381	102,684	初年度に策定した整備計画を基に、次年度以降ハード整備・ソフト事業を実施するため							
2月現計予算額の推移					5,080									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年) (目標) 実績	11,706	12,356	15,191		(20,000)	(20,000)		令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略 H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョン R2~R6)					
活動指標	支援事業数 (目標) 実績				(4) 3	(4)		(8)						
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価						
【前年度実績】 支援件数：3市町  【事業による要因】 補助要件に満たず不採択となった案件があったため				令和5年度に不採択となった案件はブラッシュアップを行い、令和6年度に5市町の支援をもって、最終目標の8件を目指す				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

## 六呂師高原活性化事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	県、民間事業者				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営、補助								事業 経過 年数	5 年		
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) 政 策 [ 10 新幹線開業効果を最大化	関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン ]								
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
中部縦貫自動車道の開通に向けて、六呂師高原エリアのレベルアップを図りさらなる誘客促進を図る必要がある						令和3年 六呂師高原観光客入込数 108千人 令和4年 六呂師高原観光客入込数 102千人						
[事業目的]												
六呂師高原の新たな誘客の柱の検討や六呂師高原内の各施設レベルアップ等を図り、中部縦貫自動車道の開通効果の最大化と地域の活性化を目指す												
[事業内容]												
(1) 六呂師高原開発事業者への支援 (R5.2月補正) (2) 妻平ヒュッテ/ハイランドホテルの解体工事 (R6当初) (3) 農機具小屋の移転補償 (R6当初)												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 事業所数: 4,657 (R3経済センサス-活動調査)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	六呂師高原全体の活性化策について、開発事業者・大野市・地元関係者等と検討					他県の状況						

## 六呂師高原活性化事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代			
事業主体	県、民間事業者				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営、補助											経過年数		
補助率	10/10											5 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	241,801		149,000	(諸)	80,600	12,201	公共施設等適正管理推進事業債(除却債) 大野市負担金							
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		4,734	18,139	20,821	75,279	241,801	2月補正前倒し 399,464千円							
2月現計予算額の推移		13,015	18,139	43,981	474,753									
決算額の推移		13,011	18,139	26,725										
前年度までの 主な増減理由	R3：六呂師高原活性化構想を策定 R4：開発箇所のみ有地の購入等 R5：六呂師高原スキー体験施設の解体工事等													
[成果指標等の推移]														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	六呂師高原観光客入込数 (千人) (※暦年)	(目標) 実績 102	108	102				(280)	R8目標値 280千人(六呂師高原活性化構想)					
活動指標		(目標) 実績										事業内容が拠点整備等への支援であるため、活動指標の設定なし		
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・六呂師高原に事業参入を行う民間事業者の公募</li> <li>・六呂師高原開発計画の作成</li> <li>・六呂師高原スキー体験施設の解体工事</li> <li>・妻平ヒュッテ/ハイランドホテルの解体設計</li> <li>・農機具小屋の移転補償調査</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・六呂師高原開発事業者への支援</li> <li>・妻平ヒュッテ/ハイランドホテルの解体工事</li> <li>・農機具小屋の移転補償</li> </ul>				<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

## 上海からの誘客促進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	(公社) 福井県観光連盟				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	補助											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 新幹線開業効果を最大化 ]				関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
中国からの観光客数のコロナからの回復が遅い。						福井県の中国人宿泊者数 (R5. 1~10月) 令和元年比32.2%						
[事業目的]												
中国からの誘客を促進するために小松空港および富山空港の上海利用者に対して支援を行うことで、福井県への誘客を促進する。												
[事業内容]												
小松空港、富山空港の上海便を利用した県内宿泊・観光を行うツアー造成を支援 補助対象：中国の旅行会社 補助上限額：送客人数1名につき片道5千円												
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 4,774事業所(R3年経済センサス)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	富山県：中国便利用促進に向けた観光客誘客促進事業助成金					



# 上海からの誘客促進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代				
事業主体	(公社) 福井県観光連盟				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R6 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度	
事業実施方法	補助											経過年数			1 年
補助率	10/10														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等								
予算額	9,700	4,850			4,850	デジタル田園都市国家構想交付金									
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>															
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移						9,700									
2月現計予算額の推移															
決算額の推移															
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	外国人宿泊者数(人) (※暦年)	(目標) 実績	23,080	9,370	12,460	63,830	(400,000)	(400,000)	令和6年 40万人(ふくい観光ビジョン)						
活動指標	福井県への送客人数	(目標) 実績					(970)								
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価							
—				—				<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し    見直し額 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他							

## 観光レベルアップ事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課		課長名	野村 佳代			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	-														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 新幹線開業効果を最大化 ]				関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン ]								
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]									
「ふくい観光ビジョン」目標（R6観光入込客数2000万人）の達成に向け、専門家の助言を取り入れ、本県の観光施策の進行管理を行う。						令和4年 福井県観光客入込数 1,519万人 観光消費額 1,058億円									
[事業目的]															
北陸新幹線敦賀開業を見据え、観光客の満足度を一層高めるための観光施策の推進を図る。															
[事業内容]															
専門家の指導による観光施策の推進 観光事業に精通した専門家の助言を取り入れ、本県の観光施策を推進															
[受益者] 県内観光客						[想定される受益者数] 1,519万人 (R4観光客入込数)									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況									

## 観光レベルアップ事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額					0							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	令和 6 年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		646	190	190	191							
2 月現計予算額の推移		646	190	190	191							
決算額の推移		528	141	0								
前年度までの 主な増減理由	R3：オンライン会議による開催費用の削減											
[成果指標等の推移]												
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								会議を開催し専門家の助言を施策に取り入れるための事業であり、成果指標はなじまない			
活動指標	懇話会開催回数 style="text-align: center;">(目標) 実績	(1) 1	(1) 2	(1) 0	(1) 1	(1)	(1)	(1)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和 6 年度の変更点				事業評価				
ふくい観光ビジョン推進懇話会を実施 (R6.3)				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	191	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## モデル観光休憩施設整備事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H6 年度	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	直営			経過年数					31 年			
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 9 100年に1度のまちづくり ]				関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
平成6年度に大野市下山に設置したモデル観光休憩施設が老朽化しており、周辺環境の変化から利用頻度も低くなっている。												
[事業目的]												
老朽化しているモデル観光休憩施設（大野市下山）を撤去することにより、良好な景観を保つ。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル観光休憩施設の撤去 平成6年度、大野市下山に設置したモデル観光休憩施設が老朽化しており、利用頻度も低いため、撤去する。</li> </ul>												
[受益者] 大野市を訪れる観光客						[想定される受益者数] 1,752千人 (R3福井県観光客入込数)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

# モデル観光休憩施設整備事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H6 年度 経過年数 31 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営													
補助率	-													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額					0									
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	令和 6 年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					8,477									
2 月現計予算額の推移					8,477									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	(目標) 実績								老朽化したモデル観光休憩施設を撤去する事業であり、成果指標はなじまない					
活動指標	モデル観光休憩施設の撤去 実績				(1) 1									
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和 6 年度の変更点				事業評価						
大野市下山に設置したモデル観光休憩施設を撤去				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	8,477			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

## 夜間観光促進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	市町、団体等				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助								経過年数	4 年		
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 新幹線開業効果を最大化 ]				関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン ]					
[解決すべき問題・課題] 県内の観光入込は、日帰り客が全体の約8割を占めており、新幹線開業の効果を最大限にするためには、滞在時間の伸長、観光客の増加が必要であり、夜間観光の目玉となるコンテンツが求められる。						[問題・課題を表す客観的データ] 令和4年県内観光客入込数 15,191千人(対前年比22.9%増) うち、日帰り客 12,790千人(同23.4%増) 宿泊客 2,401千人(同20.5%増)						
[事業目的] 宿泊事業者と連携した夜間イベントを開催することにより夜間の賑わいを創出し、観光客の県内宿泊を図る。												
[事業内容] 〔ナイトコンテンツ造成支援〕 補助上限額 2,000千円(新規事業) 1,000千円(ブラッシュアップ事業)												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 事業所数: 4,657 (R3経済センサス-活動調査)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## 夜間観光促進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代			
事業主体	市町、団体等				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助													
補助率	1/2													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額					0									
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	令和 6 年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移			41,100	27,500	20,000									
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移			41,100	18,964	7,385									
決算額の推移			23,347	18,896										
前年度までの 主な増減理由	R4：県内のプロジェクター整備にかかる支援が完了したことに伴う減 R5：県内のプロジェクションマッピングによる映像コンテンツ制作にかかる支援が完了したため													
[成果指標等の推移]														
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	県内延べ宿泊者数(万人) ※宿泊旅行統計調査	(目標)				(510)	(510)	令和 6 年目標値 510 万人 (ふくい観光ビジョン)						
		実績	414	256	233									
活動指標	イルミネーション等設置 夜間イベント開催件数	(目標)		(10)	(10)									
		実績		12	6									
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和 6 年度の変更点				事業評価						
<b>【前年度実績】</b> 夜間イベント開催件数：6件 <b>【事業による要因】</b> 夜間イベントの新規やブラッシュアップについては、これまでの支援で掘り起こしを終えているため、今回支援数未達となった。令和 4 年度に支援した12件のうち、11件は令和 5 年度も支援なしで夜間イベントを継続して実施しており、事業効果は引き続き期待できる。				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	20,000			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

## 三方五湖エリア魅力アップ推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体		実行委員会			事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法		負担金										
補助率		定額										
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) 政策 [ 10 新幹線開業効果を最大限			関連する県の計画等		[ 高速交通開通アクション・プログラム ]					
[解決すべき問題・課題] 平成30年度に三方五湖エリア全体協議会を立ち上げ、本エリアの「目指すべき姿」をステップアッププログラムとともに示した。今後、このプログラムを関係団体や地域住民と協力しながら着実に実行していく必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 令和3年レインボーライン入込数 340千人 令和4年レインボーライン入込数 378千人						
[事業目的] ステップアッププログラムの進捗を管理しながら、協議会の下に設けた部会において、新幹線敦賀開業時までには解決すべき観光の問題点を検討し、課題解決のための事業の実行へとつなげていく。また、新幹線開業時に向けて、三方五湖エリアのブランド力を向上させ、効果的に発信していく。												
[事業内容] (1) 「三方五湖エリア全体協議会」の開催(平成30年度～) ・協議会を構成する観光、環境、農・漁業などの関係団体と県、美浜町・若狭町が、ステップアッププログラムの進捗を管理するとともに、三方五湖エリアの課題や必要となる取組みについて議論し、エリア全体のさらなる魅力アップに向けた施策を検討  (2) 三方五湖エリア全体協議会専門部会の開催(令和元年度～) ・専門部会を設け、三方五湖の課題の解決策を検討 ・各課題に応じて、有識者(専門家)のアドバイスを受け課題解決に向けてサポート  (3) 三方五湖ブランド力向上・広報施策(令和元年度～) ・北陸新幹線敦賀開業を見据え、観光ロゴマークを基軸にした広報施策の展開												
[受益者] 福井県の物産関係事業者等						[想定される受益者数] 300社						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 三方五湖エリア活性化支援事業 (役割分担)					
市町との連携状況	美浜町、若狭町とともに協議会を構成					他県の状況						



## 三方五湖エリア魅力アップ推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	野村 佳代	
事業主体	実行委員会				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	定額											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額					0							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		2,000	1,500	1,500	1,500	0						
2月現計予算額の推移		2,000	1,500	1,500	1,500							
決算額の推移		2,000	1,500	1,500								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	三方五湖の入込数 (千人)	(目標) 378	(300) 340	(300) 378	(300)				新型コロナウイルスの影響も踏まえ、当面H28年水準(30万人)を維持 ※レインボーラインの数値を準拠 中間目標は観光ビジョンの目標値(H30年度比20%増)に合わせる			
	実績											
活動指標	全体協議会の開催	(目標) 2	(2) 2	(2) 2	(2) 1							
	実績											
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体協議会を開催 (R6.3月)</li> <li>・令和5年度で事業終了</li> </ul> 【事業による要因】 令和5年度事業報告のみの実施であったため				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,500	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		